施策評価マネジメントシート(平成27年度の実績評価)

記入年月日

平成 28 年 4 月 7 日

施策No	政策名	魅力と活力のある産業社会づくり	主管課	商工観光課	
503	施策名	観光の振興	関係課	農林課、都市整備課、企画課	

1. 施策の目的と成果把握

	施策の対象	対象指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		①1都、6県の人口	千人	見込値			42,003	42,005	42,006	42,008	42,010	41,940
	桜川市に訪れる観光客	シェ 印、 ひ 木 ツ 八 口		実績値	42,326	42,420	42,337	42,619	42,688	42,792	43,046	
				見込値								
				実績値								
目	施策の意図	成果指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		①観光客入り込み客数	人	目標値			620,000	625,000	400,000	405,000	410,000	415,000
		少既儿谷八り匹ぐ谷奴		実績値	380,500	614,800	385,500	333,600	367,100	339,600	353,700	
的		②上野沼やすらぎの里キャンプ場利用 者数	人	目標値			6,000	10,000	11,500	12,000	12,000	12,000
	四季を通じて観光客に			実績値	12,607	11,002	6,716	11,573	11,808	14,761	13,880	
	訪れてもらう	③真壁町並み(ひなまつり含む)客数	人	目標値			80,000	90,000	100,000	110,000	115,000	120,000
		●共主/1 並 / (0 / d & 2 / 1 d) 行		実績値	101,567	111,387	100,121	111,097	81,505	101,513	101,437	
		④雨引観音客数		目標値			420,000	430,000	200,000	205,000	210,000	215,000
		OH THE E	人	実績値	206,394	415,276	139,833	145,159	181,169	164,604	148,712	
1	成果指標設定の考え方	○四季を通じて観光客に訪れてもらうた 含む)客数」④「雨引観音客数」を指標と		観光客入	り込み客数	と、代表的な	な集客地②	「やすらぎの	の里利用者	数」③「真昼	壁街並み(で	トなまつり
	成果指標の把握方法と 算定式等	○対象の「1都、6県の人口」は、関東地・①観光客入り込み客数は、「茨城の観: る。 ・②やすらぎの里利用者数は、やすらぎ・③真壁街並み(ひなまつり含む) 客数は+ひなまつり期間中案内数合計) 数を記	光レクリ の里の 、観光	エーション ¹ 利用者実績 客動態調査	見況」から。 「数を記入。	※22年度 <i>の</i>	614,800は	、雨引観音				

2. 施策の役割分担と状況変化

•	//6/	KO KEN IECKNOZIO	
		1)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民や地域、行政と協働でやるべきこと)	2)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
	役割分担	○桜川市の歴史的文化遺産や自然環境に誇りと関心を持ち、自ら学び、地域の観光資源の活用について考える。 ○来訪者に対する出会いの機会やおもてなしの心を育む。 ○地域のイベントなどに積極的に参加する。 ○来訪者に誇れる清潔で美しいまちづくりに努める。 ○観光を地域産業振興として育成していくことに対して、関心と理解を高めるよう努める。	 ○市民や観光客の意向調査に努め、つくばエクスプレスや北関東自動車道を活用した観光 振興施策を検討する。 ○市民に対し、桜川市の歴史的文化遺産や自然環境に誇りを持ってもらう機会を用意し、観 光資源を育成していくことに対して、市民の合意形成を図る。 ○筑波山周辺地域の行政機関との連携を強化し、地域情報のPR充実を図る。
Ī		3)施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?	4)この施策に対して住民、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	状況変化		○住民の観光に対する期待度は、総合計画策定時の満足度・優先度意向調査でみると、中位より下に位置しているという状態である。現在、市内には観光産業というものはなく、生計は観光に依存していない。○観光協会を社団法人化して体制を整え、観光を市の産業として位置づけるようにしたいという声がある。 ○議会から観光大使の設置や桜川市のB級グルメ考案について進めてはどうかという意見がある。

3. 基本事業の目的と指標

	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(① 観光PRの強化・充 実	市内を訪れる観光	桜川市を知っても らう	観光客入り込み客数	実績値	614,800	385,500	333,600	367,100	339,600	353,700	
-	② 観光資源の充実・ 開発	ノベハ 細业次派	イベント、観光資源を	桜川市で行われているイベント への参加者数、来場者数	実績値	153,000	142,500	162,000	135,500	155,500	154,000	
•	開発	イベント、観兀質原	尤美し、多くの方に訪 れてもらう	への参加者数、来場者数	人	153,000	142,500	162,000	130,000	155,500	154,000	
	に迷り込みしの声		近隣自治体と連携が		実績値							
(近隣自治体との連携	近隣自治体	とれ、観光質原の不少 トワーク化が図られて いる	連携している取組み数	事業	3	3	4	5	5	5	

4. 施策のコストの実績(施策を構成する事務事業シートより積算)

	項 目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算
	①本施策を構成する事務事業の数	件	32	32	34
	②施策事業費(一般財源以外)	千円	12,474	1,489	3,567
施策の	③施策事業費(一般財源)	千円	44,082	41,154	39,807
コスト	④施策事業費の計(②+③)	千円	56,556	42,643	43,374
	⑤施策人件費(事務事業の人件費合計)	千円	18,935	15,429	15,460
	⑥ 計 (④+⑤)	千円	75,491	58,072	58,834

5. 施策に関連する主要事業等

	区 分	事務事業名	摘要
	主要事業	観光資源PR事業	後期基本計画主要事業
明本十つ	事務事業	観光協会運営支援事業	H27貢献度上位、H28優先度上位
関連する事務事業	事務事業	真壁のひなまつり支援事業	H27貢献度上位、H28優先度上位
于1万于木	事務事業	上野沼やすらぎの里管理運営事業	H27貢献度上位
	事務事業	りんりんロード利活用促進事業	H27貢献度上位
	事務事業	真壁高上町駐車場管理運営事業	H27優先度上位

施策都		施策名	観光の振興		主管課	商工観光課
6. 施策の	成果水準とその背	背景·要因 —————————————————————				
1)-①現物	犬の成果水準と時	系列比較(現状の水準は以前:	からみて成果は向上したのか	、低下したのか、その要	因は?)	
	□ 成果がかなり	向上した	✓ 成果がどちらかと	いえば向上した	□ 成果がほとん	んど変わらない(横ばい状態)
実績比較	□ 成果がどちら	かといえば低下した	□ 成果がかなり低了	Fした		
		数は、、25年度367,100人、26年月				
716		召やすらぎの里キャンプ場利用者∛ F度11,808人と、ここ数年は横ばい				震災による半減は別として、平成24年度
背景	・大和地区の雨引着	見音は25年度181,169人、26年度1	64,604人、27年度148,712人とな	り、調査日の天候により多少	た右されることが原因で前年	度より減となった。
泉		観光は、1,437人が真壁街並み案内 については、約10万人が訪れた		2日間で1 597人(昨年11日)	題1 947 たかふら980 た増) IRっ	水戸線岩瀬駅からは13日間で1,025人(昨
要	年11日間1,247人か	いら222人減)の利用があった。今回	回も天候にも恵まれ、バスの停留所	所が昨年同様、高上町駐車:		
因	北関東自動車道を	を利用して県北、北関東、首都圏が	nら訪れる観光客が増加している。	'o		
1)-②成男	■ 果目標の達成状況					
17 6/19.2	日標値を大きく		目標値のすべてが、	- m-t-	一	で挿ぶり挿植なと同った
実績比較						は標で目標値を上回った **たたこの。***
	目標値どおりの)成果でめった 客数の27年度目標値410,000人に	✓ 一部の成果指標で 対1 353 700 人で56 300 人下回っ		すべての成果	指標で目標値を下回った
背	②やすらぎの里利月	用者数の27年度目標値は12,000人	人に対し、13,880人であり1,880人	増となり目標水準を上回った	£.	
景		なまつり含む)客数の27年度目標値 27年度目標値は210,000人に対し				
要	桜川市全体の観光	光客入込客数は、観光客動態調査	Eの対象地である雨引観音の来訪	ち者が影響している。		
因		れたイベントへの来場者数は154,00 見している取り組み数は5事業であ		>した。		
	・延隣日石谷と連携	50 (いつ取り組み数は3事業であっ	ం .			
2)他団体	との比較 (近隣市	方町、県·国の平均と比べて成:	果水準は高いのか低いのか、	、その背景・要因は?)		
	他の自治体より		他の自治体よりどち	ららかといえば高い水準であ	る 他の自治体と	ほぼ同水準である
実績比較	他の自治体より	Jどちらかといえば低い水準である	し 他の自治体よりかな	より低い水準である		
)は5,704万人(前年比12.4%増)	となった。9ヶ所の道の駅や、	、17のイベントが調査対象にな	なったことも増加の要因となっている。
	・近隣市町村の入込		滅(人) 増減率(%)			
背景	桜川市 339	0,600 353,700 14,	,100 4.2 雨引山、	真壁のひなまつり、桜まつり		
泉				園祭、小栗判官まつり、どすご き、結い市	こいペアー	
要					訳が新たに調査対象となった)
因		9,400 3,320,400 ▲99, 1,400 1,350,500 19,		、梅まつり パーク、果樹園、石岡祇園祭	ńs.	
		1,400 1,350,500 19, ハが、入込客数の増減率により、他			ボ	
3)住民の	L 期待水淮との比較	変 (住民の期待よりも高い水準	またのか 同程度なのか 低し	\のか) その他の特徴に	+2	
57任氏の	_	(住民の物付みり0回の水子	ころりは、同性及るりは、同じ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	士兄の知体 い	しかたけ言いまます。	ま見の物体に川ばれ	こんしいこげ言いせ継ぶち		にば日北洋でも 7
実績比較		りかなり高い水準である		ららかといえば高い水準であ		ほぼ同水準である
	市民の期待より	りどちらかといえば低い水準である	市民の期待よりかな	なり低い水準である	る	
+ 背	□ 市民の期待より ・住民の観光に対す	りどちらかといえば低い水準である	市民の期待よりかな	なり低い水準である	る	ほぼ同水準である う状態である。現在、市内には観光産業と
	□ 市民の期待より ・住民の観光に対す	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の	市民の期待よりかな	なり低い水準である	る	
背 特景 徴•	□ 市民の期待より・住民の観光に対すいうものはなく、生計	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の	る	なり低い水準である	る	
背 特景 徴•	□ 市民の期待より ・住民の観光に対すいうものはなく、生ま 成果実績に対して ・27年度において重	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 電点的に取り組んだ対象地区は、同	ある。 □ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観	なり低い水準である と、平均よりどちらも低く、要? ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る	う状態である。現在、市内には観光産業と
背 特景 徴•	□ 市民の期待より ・住民の観光に対すいうものはなく、生ま ・ 成果実績に対して ・ 27年度において重 貢献度評価の結果	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、「 、、貢献した事務事業は、「観光協会	ある。 □ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観	なり低い水準である と、平均よりどちらも低く、要? ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る	
背 特景 徴•	□ 市民の期待より。 ・住民の観光に対すいうものはなく、生ま ・ 27年度において重 貢献度評価の結果。 ・ 「観光協会運営支	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、 で、貢献した事務事業は、「観光協会 変といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円	ある。 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら、 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭り	なり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要ないであると、平均よりどちらも低く、要なができる。 光情報を発信する」ことをにぎの里管理運営事業」「真璧」 、納涼大会、岩瀬駅前祇園	を 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 、ヤマザクラ見学者の受け	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大
背 特景 徴•	□ 市民の期待より ・住民の観光に対すいうものはなく、生計 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 直点的に取り組んだ対象地区は、市 、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援い事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か	あ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら 円を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったで祭りなどの支援を行いまし	なり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要ないであると、平均よりどちらも低く、要なができる。 光情報を発信する」ことをにぎの里管理運営事業」「真璧」 、納涼大会、岩瀬駅前祇園	を 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 、ヤマザクラ見学者の受け	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果
背 特景 徴•	□ 市民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生ま ・27年度において重賞献に貢献してきます。 ・3 観光・物産両面の強イ・ ・1、物産両面の強イ・ ・1、上野沼やすらぎる	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、 は、貢献した事務事業は、「観光協会 業を事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、カ 化を図るとともに会員増強に力を入 の里管理運営事業」は、年間13,88	あまの期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら、 円を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・	より低い水準であると、平均よりどちらも低く、要ないでは、平均よりどちらも低く、要なができる。 光情報を発信する」ことをにぎの里管理運営事業」「真豊い、納涼大会、岩瀬駅前祇園、た。また平成26年7月1日に	を 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 は、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを いた利用し、余暇を楽しんだ。	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観
特景。 7. 施策の 前年度	□ 市民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生計 ・グものはなく、生計 ・グラものはなく、生計 ・グラものはなく、生計 ・グラをできる。 ・「観光協会運営支会、真壁地区ではず ・グートをさる。 ・「真壁のひなまった。」	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み での、これまでの主な取り組み では、 直点的に取り組んだ対象地区は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	あ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら、 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし れました。 象り人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として	より低い水準である と、平均よりどちらも低く、要え 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真島 い、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に マンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨城	を 市民の期待と 主意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 祭、ヤマザクラ見学者の受け オープンしたホームページを 小を利用し、余暇を楽しんだ。 成県広報公聴課、茨城県観光	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関
特景・ 7. 施策の 前年度	□ 市民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生計 ・グものはなく、生計 ・グラものはなく、生計 ・グラものはなく、生計 ・グラをできる。 ・「観光協会運営支会、真壁地区ではず ・グートをさる。 ・「真壁のひなまった。」	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み での、これまでの主な取り組み では、 直点的に取り組んだ対象地区は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	あ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら、 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし れました。 象り人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として	より低い水準である と、平均よりどちらも低く、要え 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真島 い、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に マンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨城	を 市民の期待と 主意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 祭、ヤマザクラ見学者の受け オープンしたホームページを 小を利用し、余暇を楽しんだ。 成県広報公聴課、茨城県観光	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観
特景。 7. 施策の 前年度	□ 市民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生ま ・成果実績に対して ・27年度において重賞献度資献に資献とです。 ・「観光協会区ではずい、 ・「も野沼やかない。」 ・「真壁のかなまの。 ・「真空のかなまの。 ・「真などのなりない。」 ・「現れると連携し、 なの協力を得た。 ・「観光的人でする。	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、計、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の里管理運営事業」は、東閏13,88 の支援事業」は、真壁のひなまつり。 時バスの運行、ポスター、チラシ、	あまた。 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら 円を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし 入れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として ホームページによる広域的なPR	なり低い水準である と、平均よりどちらも低く、要る 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真皇 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に キンブ場、パーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨城 活動、メディアへの露出をま	を 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 場際、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを パトを利用し、余暇を楽しんだ。 放駅広報公聴課、茨城県観光 収集に本また会場案内、駐車	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関
特景・7. 施策の前年取扱に	一 市民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生ま ・27年度において重質献にの結果実績に対して ・27年度において重質耐力に有いる。 ・「観光協会連営は、 ・「観光協会連営は、 ・「上野部のび始く、 ・「上野部のひかと、 ・「真路のひかとと連携し、 ・「観光がシレフレッ 配布しました。	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、計、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の里管理運営事業」は、東壁のひなまつり。 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ	あまたの期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら。 円を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし、 入れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンフロ	なり低い水準である と、平均よりどちらも低く、要な 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真鬼 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に キンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨城 活動、メディアへの露出をま レットも含め市内の観光拠点	を 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを 、小を利用し、余暇を楽しんだ。 放県広報公聴課、茨城県観光 な場になる、また会場案内、駐車 、施設へ設置しました。また:	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも
特景・7. 施策の前年取扱に	一市民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生ま ・27年度において ・27年度において 質問した事業 ・1観光協会区のでは ・1、真壁地面の砂・1、 ・1、真壁の砂・1、 ・1、真壁の砂・1、 ・1、真壁の砂・1、 ・1、 ・1、 ・1、 ・1、 ・1、 ・1、 ・1、	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 にの、これまでの主な取り組み 意点的に取り組んだ対象地区は、「 、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るともに会員増強に力を入 の里管理運営事業」は、年間13,88 り支援事業」は、真壁のひなまつり。 時パスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ を見ている。 は、現観光物産協会参画事業	あ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみる? (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら いったて祭りなどの支援を行いまし えれました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンフ! 業は、観光キャンペーンにおいて、	なり低い水準である と、平均よりどちらも低く、要な 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真鬼 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に キンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨城 活動、メディアへの露出をま レットも含め市内の観光拠点	を 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを 、小を利用し、余暇を楽しんだ。 放県広報公聴課、茨城県観光 な場になる、また会場案内、駐車 、施設へ設置しました。また:	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有
特景・7. 施策の前年取扱に	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まで見います。 ・27年度においるはなく、生まで見います。 ・27年度においるまでは、 ・1個光度では、 ・1個光度では、 ・1の上に表すると連携した。 ・1、も野沼のひ始く、 ・1、東野沼のひかと、 ・1、東野沼のひかと、 ・1、東野沼のひかと、 ・1、東野沼のひかと、 ・1、東野沼のひかと、 ・1、東野沼のひかと、 ・1、東野沼のひかと、 ・1、東野沼のひかと、 ・1、東野沼のとは、 ・1、東野沼のとは、 ・1、東野沼のと、 ・1、東野沼のは、 ・1、東野田 、 ・1、東野田 、 ・1 東野田 、 1 東野田 1 東	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、計、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の工管理運営事業」は、真壁のひなまつり。 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ には、県観光物産協会参画事業 進協議会参画事業は、平成27年 進協議会参画事業は、平成27年 進協議会参画事業は、平成27年 進協議会参画事業	あまたの期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら。 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし、 入れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンフ! な推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAK!	より低い水準であると、平均よりどちらも低く、要ないでは、平均よりどちらも低く、要なができる。 光情報を発信する」ことをにぎの里管理運営事業」「真豊り、納涼大会、岩瀬駅前祇園、た。また平成26年7月1日にマンブ場、バーベキューサイく、茨城県観光物産課、茨城活動、メディアへの露出をまレットも含め市内の観光拠点パンフレットを配布し、ホームウォークフェスティバルを実	本 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 、 ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを は県広報公聴課、茨城県観光 な場にない、また会場案内、駐車 国、施設へ設置しました。また: 施した。また:	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。
特景・7. 施策の前年取扱に	□ 市民の期待よれ ・住民の期待よれ ・住民の観光に大生 ・ 27年度に耐した ・ 27年度評価的に ・ 27年度評価的に ・ 3 ・ 4 ・ 4 ・ 4 ・ 4 ・ 5 ・ 5 ・ 6 ・ 8 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8	リどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 意点的に取り組んだ対象地区は、「、 、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るともに会員増強に力を入 の里管理運営事業」は、年間13,88 の支援事業」は、真壁のひなまつり。 時バスの運行、ボスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ 後】では、県観光物産協会参画事業 キャンペーン推進協議会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年」	情報の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 を選営支援事業」「上野沼やすら、 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし、 れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として、ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンフ! 業は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI! 206年8月に認定が見送となり、指 206年8月に認定が見送となり、指	より低い水準であると、平均よりどちらも低く、要ないでは、平均よりどちらも低く、要なができる。 光情報を発信する」ことをにぎの里管理運営事業」「真豊り、納涼大会、岩瀬駅前祇園、た。また平成26年7月1日にマンブ場、バーベキューサイく、茨城県観光物産課、茨城活動、メディアへの露出をまレットも含め市内の観光拠点パンフレットを配布し、ホームウォークフェスティバルを実	本 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 、 ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを は県広報公聴課、茨城県観光 な場にない、また会場案内、駐車 国、施設へ設置しました。また: 施した。また:	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも
特徴・7. 施策の前年取扱に関する。 前の取扱に関	□ 市民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生ま ・27年度において重真 に対して重真 に できる。 ・27年度において重真 に できる。 ・「観光値では、 できる。 ・「観光値ですった。」 ・「「観光値ですった。」 ・「「観光値ですった。」 ・「「観光がシレフレッ をあの協力をとしまりた。 ・「観光パシレフレッ を記しました。 ・「配布しました。 ・「配布しました。 ・「最光値では、 ・「と野沼のび始く。」 ・「配布しました。 ・「観光パシレフレッ を記しまりた。 ・「といるでは、 ・」 ・「といるでは、 ・」 ・「といるでは、 ・」 ・「といるでは、 ・」 ・「といるでは、 ・」 ・」 ・」 ・ では、 ・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	りどちらかといえば低い水準である ける期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、計、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の里管理運営事業」は、真壁のひなまつり。 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のバンフレ には、県観光物産協会参画事業 進協議会参画事業は、平成27年 一夕推進協議会参画事業は、平成27年 一夕推進協議会参画事業は、平成27年 一夕推進協議会参画事業は、平成27年 一夕推進協議会参画事業は、平成27年 の検討、各市巡検、各市ジオツア・	情報の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 を選営支援事業」「上野沼やすら、 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし、 れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として、ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンフ! 業は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI! 206年8月に認定が見送となり、指 206年8月に認定が見送となり、指	より低い水準であると、平均よりどちらも低く、要ないでは、平均よりどちらも低く、要なができる。 光情報を発信する」ことをにぎの里管理運営事業」「真豊り、納涼大会、岩瀬駅前祇園、た。また平成26年7月1日にマンブ場、バーベキューサイく、茨城県観光物産課、茨城活動、メディアへの露出をまレットも含め市内の観光拠点パンフレットを配布し、ホームウォークフェスティバルを実	本 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 、 ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを は県広報公聴課、茨城県観光 な場にない、また会場案内、駐車 国、施設へ設置しました。また: 施した。また:	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。
特景・ 7. 施策の 前年取 の 状 課題	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで表して重質献品では、ままないで、また。 ・「観光瞭地での強化・「真野のひかと」、・「観光度のは、・「東野のひかと」、・「観光度のは、・「東野のひかと」、・「観光パンシレフレッ・配布しました。・「観光パンシレフレッ・配布しました。」その他の事務事業を観光が、地域ジオイト・「現代版版山地域ジオイト・「関係版版山地域ジオイト・「関後期基本計画(後期基本計画(を表した。)	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、元、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の里管理運営事業」は、年間13,88 の支援事業」は、真壁のひなまつり、 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ としては、県観光物産協会参画事業 といる。 は、単位、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	あまたの期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観会運営支援事業」「上野沼やすら 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭りいったて祭りなどの支援を行いまし、 大小ました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンフ! 業は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI! 206年8月に認定が見送となり、指 一等を実施した。	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりとならできる。 一次では、大きな、岩瀬駅前紙園、た。また平成26年7月1日にマンプ場、バーベキューサイく、茨城県観光物産課、茨城に新り、メディアへの露出をまして、大きな市内の観光拠点がフレットを含め市内の観光拠点がフレットを配布し、ホールウォークフェスティバルを実に摘事項の修正と実施計画に	を 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 場然、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを で、大を利用し、余暇を楽しんだ。 放果広報公聴課、茨城県観光 な場になる、また会場案内、駐車 高、施設へ設置しました。また: 施して、また会場案内、記さいまた。 においている。 においている。 においているといるといった。 においているといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー
特景・ 7. 施策の 前年取 の 状 課題	□ 市民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生ま ・27年度において重真 に対して重真 に できる。 ・27年度において重真 に できる。 ・「観光値では、 できる。 ・「観光値ですった。」 ・「「観光値ですった。」 ・「「観光値ですった。」 ・「「観光がシレフレッ をあの協力をとしまりた。 ・「観光パシレフレッ を記しました。 ・「配布しました。 ・「配布しました。 ・「最光値では、 ・「と野沼のび始く。」 ・「配布しました。 ・「観光パシレフレッ を記しまりた。 ・「といるでは、 ・」 ・「といるでは、 ・」 ・「といるでは、 ・」 ・「といるでは、 ・」 ・「といるでは、 ・」 ・」 ・」 ・ では、 ・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	りどちらかといえば低い水準である ける期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、計、貢献した事務事業は、「観光協会 装事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の里管理運営事業」は、真壁のひなまつり。 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ には、県観光物産協会参画事業は、平成27年 一夕推進協議会を一下を一分表記を一分表記を一分表記を一分表記を一分表記を一分表記を一分表記を一分表記	一市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら。 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし、 入れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のバンフ! 業は、観光キャンペーンにおいて、 まを推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI 26年8月に認定が見送となり、指 一等を実施した。	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 大、平均よりどちらも低く、要う 大、平均よりどちらも低く、要う 大きの里管理運営事業」「真豊り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 大で、また平成26年7月1日に キンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨城 活動、メディアへの露出をま レットも含め市内の観光拠点 パンフレットを配布し、ホーリウォークフェスティバルを実) 指摘事項の修正と実施計画に 今後の課題(未着手の	本意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 は、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを は外、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを な界広報公聴課、茨城県観光 を利用し、余暇を楽しんだ。 な駅広報公聴課、茨城県観光 を利用し、また会場案内、駐車 に、また会場案内、駐車 は、施設へ設置しました。また: は、これで、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	方状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー
特景・ 7. 施策の 前年取 の 状 課題	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで表して重質献品では、ままないで、また。 ・「観光瞭地での強化・「真野のひかと」、・「観光度のは、・「東野のひかと」、・「観光度のは、・「東野のひかと」、・「観光パンシレフレッ・配布しました。・「観光パンシレフレッ・配布しました。」その他の事務事業を観光が、地域ジオイト・「現代版版山地域ジオイト・「関係版版山地域ジオイト・「関後期基本計画(後期基本計画(を表した。)	リどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、元 、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 接事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁耐園祭、か たを図るとともに会員関連に力を入 の里管理運営事業」は、年間13,88 の支援事業」は、真壁のひなまつり、 時バスの運行、ポスター、チラシ、、 小作成事業」は、2種類のパンフレ 大作成事業」は、2種類のパンフレ は協議会参画事業は、平成27年1 一ク推進協議会参画事業は、平成27年1 一人27年2 一人27年2 一人27年2 一人27年2 一人27年3 一人27年4 一人27年3	(事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観会運営支援事業」「上野沼やすら、 関係ではなくら祭りいったて祭りなどの支援を行いました。 また、	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、一般ないでは、一般ないないでは、一般ないないでは、一般ないないないでは、一般ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	は意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 場へ、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを がを利用し、余暇を楽しんだ。 な県広報公聴課、茨城県観光 実施した。また会場案内、駐車 高、施設へ設置しました。また: 施し207名が参加した。 に基づく事業を行った。主な中 本来、未達成の理由など マ、茨城空港等新たな変地を新たたな に寄与するため、既存周辺施設 をは、既存周辺施設	方状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー
特景・ 7. 施策の 前年取 の 状 課題	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで表して重質献品では、ままないで、また。 ・「観光瞭地での強化・「真野のひかと」、・「観光度のは、・「東野のひかと」、・「観光度のは、・「東野のひかと」、・「観光パンシレフレッ・配布しました。・「観光パンシレフレッ・配布しました。」その他の事務事業を観光が、地域ジオイト・「現代版版山地域ジオイト・「関係版版山地域ジオイト・「関後期基本計画(後期基本計画(を表した。)	りどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 意点的に取り組んだ対象地区は、元、 (では、現態といえる。 接事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の里管理運営事業」は、年間13,88 の支援事業」は、真壁のひなまつり。 時パスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ とでは、県観光物産協会参画事業は、平成 では、県観光物産協会参画事業は、平成 の検討、各市巡検、各市ジオツア・ 田24~の振り返り 一の振り返り 一の振り返り 一、現土能での ・観光ルンフレンを作成、観光施 ・ボームページを効果的に活用した。 ・ボームページを効果的に活用した。	情報の期待よりかな。 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 を選営支援事業」「上野沼やすら、 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭りいったて祭りなどの支援を行いました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として、ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンプし 業は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI 26年8月に認定が見送となり、指 一等を実施した。 り取組成果 い協会運営の促進。 設等に設置した。。	より低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをにぎの里管理運営事業」「真豊り、納涼大会、岩瀬駅前祇園、た。また平成26年7月1日にマンブ場、バーベキューサイく、茨城県観光物産課、茨坂活動、メディアへの露出をまレットも含め市内の観光拠点がフレットを配布し、ホールウオークフェスティバルを実造請審項の修正と実施計画にサールで表現に大震光をの増加・北関東道やつくばエクスプレフラを利用した観光客の増加・を利用した観光客の増加	重点意図として取り組んだ。 達点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 然、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを いを利用し、余暇を楽しんだ。 成県広報公聴課、茨城県観光 実施した。また会場案内、駐車 高、施設へ設置しました。また: 4ページ『観光いばらき』にお 施し207名が参加した。 こ基づく事業を行った。主なが 事業、未達成の理由など マス、茨城空港等新たな交通インに寄与するため、既存周辺施設 いく必要がある。	方状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー
特景・7. 施策の 前年取況題 8. 総合計	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで、また。 ・ 「変しないない。」 ・ 「変しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	リどちらかといえば低い水準である する期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、元、 、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の工管理運営事業」は、真壁のひなまつり。 時バスの運行、ポスター、チラシ、、 小作成事業」は、2種類のパンフレ 、「では、県観光物産協会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 ・一の振り返り これまでの ・観光、シフレットを作成、観光施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	情報の期待よりかな。 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 を選営支援事業」「上野沼やすら、 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭りいったて祭りなどの支援を行いました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として、ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンプし 業は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI 26年8月に認定が見送となり、指 一等を実施した。 り取組成果 い協会運営の促進。 設等に設置した。。	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均なの里管理運営事業」「真鬼り、納涼大会、岩瀬駅前祇園、た。また平成26年7月1日にマンブ場、バーベキューサイ、茨城県観光物産課、茨坡上ットも含め市内の観光拠点パンフレットを配布し、ホールウォークフェスティバルを実に摘事項の修正と実施計画にクラを利用した観光段を検討して、野たな観光資源に関わる市代でていく必要がある。	本 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 然、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを は県広報公聴課、茨城県観光 実施した。また会場案内、駐車 高、施設へ設置しました。また: 本ページ『観光いばらき』にお 施し207名が参加した。 に基づく事業を行った。主なが 事業、未達成の理由など マス、茨城空港等新たな交通へと に寄与するため、既存周辺施設 いく必要がある。 民団体との連携・支援の検討を	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 工場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー ・本郷減盟部の場合を発生した。 の容としては基本構想の構築、ジオストー ・本郷減盟部の場合を発生した。 の容としては基本構想の構築、ジオストー ・本郷減盟部の場合を発生を発生を行る の場合を発生しては が、多くの観光が消れる雨引山等の歴史的 立化的遺産を活かし、観光が当市・経済効果ともたらすよう 育成・強化を図る。 ・程や観光の多機能を経るととに、イベンや別量
特景・7. 施策の 前年取況題 8. 総合計	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで表して重質献品では、ままないで、また。 ・「観光瞭地での強化・「真野のひかと」、・「観光度のは、・「東野のひかと」、・「観光度のは、・「東野のひかと」、・「観光パンシレフレッ・配布しました。・「観光パンシレフレッ・配布しました。」その他の事務事業を観光が、地域ジオイト・「現代版版山地域ジオイト・「関係版版山地域ジオイト・「関後期基本計画(後期基本計画(を表した。)	リどちらかといえば低い水準である テる期待度は、総合計画策定時の けは観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、元、貢献した事務事業は、観光協会 表といえる。 接事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁範園祭、か たを図るとともに会員増強に力を入 の支援事業」は、年間13,88 の支援事業」は、真壁のひなまつり、 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ は、現観光物産協会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成の検討、各市必様、各市ジオツア・ 出名を一の振り返り	一市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 市外、県外(1都5県福島)で、「観 を選営支援事業」「上野沼やすら、 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭りいったで祭りなどの支援を行いまし、 北ました。 80人のお客様がケビン、オートキー 実ホームページによる広域的なPR マットを追加作成し、既存のパンフリー を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI 校26年8月に認定が見送となり、指 一等を実施した。 D取組成果 い協会運営の促進。 設等に設置した。 記念物「桜川のサクラ』、高峯の山 をが訪れる雨引観音などの観光資源 記念物「桜川のサクラ』、高峯の山 をが訪れる雨引観音などの観光資源	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均よりどちらも低く、要うと、平均なの里管理運営事業」「真鬼り、納涼大会、岩瀬駅前祇園、た。また平成26年7月1日にマンブ場、バーベキューサイ、茨城県観光物産課、茨坡上ットも含め市内の観光拠点パンフレットを配布し、ホールウォークフェスティバルを実に摘事項の修正と実施計画にクラを利用した観光段を検討して、野たな観光資源に関わる市代でていく必要がある。	重点意図として取り組んだ。 達点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 然、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを いを利用し、余暇を楽しんだ。 成県広報公聴課、茨城県観光 実施した。また会場案内、駐車 高、施設へ設置しました。また: は、また会場を対しました。また: は、また会場を対しました。また: は、また会場を対しました。また: は、また会場を対しました。また: は、また会場を対しました。また: は、また会場を対しました。また: は、またの理由など、 で、、	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー ・本職減渡国生公園・老園県立自然企園の指定を受けている を患いな自然環境、国の天統記念動・名蘭境での傾川のサ ケアを見切りてマゲワン。約100 等の要素又に附を育する を患いな自然環境、国の天統記念動・名蘭境で展別の が対している。 一本郷減渡国生公園・老園県立自然の無色になら に対している。 一本の連にといる。 に近くいる。 に対している。 に対し
特景・7. 施策の 前年取況題 8. 総合計	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで、また。 ・ 「変しないない。」 ・ 「変しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	プどちらかといえば低い水準である テる期待度は、総合計画策定時の 計は観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 意点的に取り組んだ対象地区は、元 、貢献した事務事業は、「観光協会 接事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の生管理運営事業」は、年間13,88 の支援事業は、真壁のひなまつり。 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ 、「では、県観光物産協会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一の検討、各市巡検、各市ジオツア・ 旧名4の一般り返り これまでの ・観光パンフレットを作成し、観光施 ・ホームページを効果的に活用した。 「国有定名所「桜川」や国指定に無光施 ・ホームページを効果的に活用した。 「国有定名所「桜川」や国指定天然 桜、真壁のひなまつりにおける交通手員 ・上野沼やすらぎの里キャンプ場の ・具態でりなまつりにおける交通手員 ・上野沼やすらぎの里キャンプ場の ・上野沼やすらぎの里キャンプ場の	□ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 を選営支援事業」「上野沼やすら 円を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし、 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として、 まつよるに対しての支援として、 大加ました。 180人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として、 実行委員会に対しての支援として、 大加ました。 180人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として、 大加ました。 180人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対して、まる大切的なPR が上ました。 180人のお客様が上で、 180人のものは、 180人のものは、 180人のものは、 180人のものは、 180人のものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真曳 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に ヤンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨切 活動、メディアへの露出を実 レットも含め市内の観光拠点 パンフレットを配布し、ホーノ ウォークフェスティバルを実 指審項の修正と実施計画に ・北関東道やつくばエクスアル フラを利用した観光をの増加 を利用した観光をの増加 を利用した観光をの増加 ・新たな観光資源がある。 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市	重点意図として取り組んだ。 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 然、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを がを利用し、余暇を楽しんだ。 弦県広報公聴課、茨城県観光 に施した。また会場案内、駐車 は、また会場案内、駐車 は、また会場を対した。また。 は、また会場を対しました。また。 は、また会場を対しました。また。 は、また会場を対しました。また。 は、また会場を対しました。また。 は、また会場を対しました。また。 は、また。 は、これでがあかした。 におずてな交通でいて、まなりである。 は、また。 は、またの理由など、 な、大坂空港等新たな交通でいて、 に、寄与するため、既存周辺施設 いく必要がある。 民団体との連携・支援の検討を は保についての検討が必要であ ものの、地元への経済効果につ	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 工場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー ・本職歳渡国主会園・老園県立自然企園の指定を受けてい な豊から自然環境、国の天族記念物・名蘭地定の採川のサ ケアリを組切やマグワク、約100 等の登録文化財を育する などの書を活かし、最近が当市・最終効果を行らない。 になり電光を活め、最近が当市・最終効果を行らない。 になり電光を記念。の整位またが、最近が当市・最終効果を行ったの見道 した再構築、観力当伝の強化にい。人と人とのかわかを 大切にした部屋の電性により、人と人のかわかを 大切にした部屋の電性により、人と人のかわかを 大切にした部屋の電性により、人と人のかわかを 大切にした部屋の電性により、人と人のかわかを 大切にした部屋の電性により、人と人のかわかを 大切にした部屋の電性により、人と人のかわかを 大切にした部屋の電光を取ると目に、 ではびんりんロードやと関東の難にない。 ではびんりんロードやと関東の際になり、 ではびんりんロードやと関東の際によりたる戦を小の展示にあり 変は国内型を集合自体との連携によりたる戦を小の展示にあり
特景・7. 施策の 前年取況題 8. 総合計	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで、また。 ・ 「変しないない。」 ・ 「変しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	プどちらかといえば低い水準である テる期待度は、総合計画策定時の 計は観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、示 、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力を入 の工管理運営事業」は、早間13,88 の支援事業」は、真壁のひなまつり、 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ には、県観光物産協会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一の接り返り これまでの ・観光協会事業を精査し、効率の良 ・観光にフレットを作成、観光版・ホームページを効果的に活用した。 ・観光協会事業を精査し、効率の良 ・観光にフレットを作成、観光版・ホームページを効果的に活用した。 ・観光協会事業を精査し、効率の良 ・観光協会事業を精査し、効率の良 ・観光協会事業を有査し、類光の ・観光協会事業を有査し、対策の ・型がとフレットを行い、観光版・ ・型がとフレットを行い、観光版・ ・型がとフレットを行い、観光版・ ・型がとフレットを行い、観光版・ ・型がとフレットを対象の ・地野沼やすらぎの里キャンブ場の ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近時自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック ・近隣自治体との連携:気波ブロック	一市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら 円を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったで祭りなどの支援を行いました。 80人のお客様がケビン、オートキー 実行委員会に対しての支援として、オートキー 実行委員会に対しての支援として、カートキー 実行委員会に対しての支援として、カートキー 実行委員会に対しての支援として、カート・ 実行委員会に対しての支援として、 がしているが、カート・ を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI を推進した。 の記念物「桜川のサクラ』、高峯の山 客が訪れる雨引観音などの観光資源 段を確保した。 読客促進した。 読客促進した。 でな観光・変楽との観光資源 段を確保した。 派な観光・変楽に連名。 大坂県門と変楽は自然	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真曳 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に ヤンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨切 活動、メディアへの露出を実 レットも含め市内の観光拠点 パンフレットを配布し、ホーノ ウォークフェスティバルを実 指審項の修正と実施計画に ・北関東道やつくばエクスアル フラを利用した観光をの増加 を利用した観光をの増加 を利用した観光をの増加 ・新たな観光資源がある。 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市 ・観光資源がある市	正 市民の期待と 正 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 変のひなまつり支援事業」「観 原、ヤマザクラ見学者の受け オープンしたホームページを がを利用し、余暇を楽しんだ。 変限な異な聴課、茨城県観光 変施した。また会場案内、駐車 高、施設へ設置しました。また: 本ページ「観光いばらき』にお 施し207名が参加した。 主述づく事業を行った。主なが 事業、未達成の理由など マス、茨城空港等新たな空通心とに寄与するため、既存周辺施設 にいく必要がある。 民団体との連携・支援の検討を 虚保についての検討が必要であ ものの、地元への経済効果につ、 、今後は観光振興の取り組みに 、今後は観光振興の取り組みに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地を協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー (1) 一 (2) 一 (3) 一 (3) 一 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (4) であり、 (4) であり、 (4) であり、 (5) であり、 (4) であり、 (5) であり、 (6) での観光の、 (6) でいるいるには、 (7) でいるいるには、 (7) でいるいるいるには、 (7) でいるいるいるいるい。 (7) でいるいるいるい。 (7) でいるいるいるいるい。 (7) でいるいるいるいるい。 (7) でいるいるいるいるいるい。 (7) でいるいるいるいるいるい。 (7) でいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる
特景・7. 施策の 前年取況題 8. 総合計	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで、また。 ・ 「変しないない。」 ・ 「変しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	プどちらかといえば低い水準である テる期待度は、総合計画策定時の 計は観光に依存していない。 での、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、示 、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増塩に力を入 の工管理運営事業」は、東間13,88 の支援事業」は、真壁のひなまつり、 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ としては、県観光物産協会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一の接り返り これまでの ・観光いフレットを作成、観光版・ホームページを効果的に活用した。 ・観光にクロットを ・観光にクロットであり、観光版・ホームページを効果のにおける交通手 ・上野沼やすらぎの里キャンプ場の ・近隣自治体との連携:気波ブロック 歩道利用促進協議会、笠間・吾国・ 按山周辺・オペーク推進協議会	□ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら 理を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし、 大小ました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンフ! 業は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI! 206年8月に認定が見送となり、指 からを実施した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI! 206年8月に認定が見送となり、指 からを実施した。 これが観光を変更した。 記念物が終別のサクラ』、高峯の山 をが訪れる雨引観音などの観光資源 段を確保した。 設定を確した。 のな観光連絡協議会、茨城県自然 愛岩県立自然公園連絡協議会、茨城県自然 愛岩県立自然公園連絡協議会、英	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真皇 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に ヤンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨坡 上の大きないで、大変は、大変ないで、大変ないかで、大変ないないで、大変ないで、大変ないないで、大変ないで、大変ないないで、大変ないないで、大変ないで、大変ないで、大変ないで、大変ないないで、大変ないないで、大変ないないで、大変ないないで、大変ないないないで、大変ないないないないないで、大変ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	重点意図として取り組んだ。 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 一般、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを がを利用し、余暇を楽しんだ。 な場広な公職会、でない、大を利用し、余暇を楽しんだ。 な場にないまた会場案内、駐車 は、施設へ設置しました。また。 を記述しました。またが 施し207名が参加した。 に基づく事業を行った。主なが 施し207名が参加した。 に基づく事業を行った。主なが 施し207名が参加した。 に基づく事業を行った。 を関係との連携・支援の検討を は保についての検討が必要である。 の検討が重要である。 である。	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー ・本郷減渡国生公園・老園県立自然企園の指定を受けている を患から自然環境、国の天然記念動・名樹油を可信用のサ ケアリー・アリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・ に対しては基本構想の構築、ジオストー ・本郷減渡国生公園・老園県立自然の場合を受けている を患いる自然の場合となる。 ・本郷減渡国生公園・老園県立自然の場合でいる。 ・ではりんり、日本に対している。 に対いる場合を認め、の地により、人と人のかれかいを 大切にした。 大切にした。 ・でくばりんりんロードやと関東の動作道のほ用、そらには対 またいるまでは、現まりに、 ・でくばりんりんロードやと関東の動作道のほ用、そらには対 またいるまで、 ・でくばりんりんロードやと関東の動作道のほ用、そらには対 変は国内辺壁は自治性との連携によりた複単で開発に取り 組んでいる。 ・地変展異策の一つとしてジオバーク認定を目指す。
特景・7. 施策の 前年取況題 8. 総合計	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで、また。 ・ 「変しないない。」 ・ 「変しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	プどちらかといえば低い水準である テる期待度は、総合計画策定時の 計は観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 値点的に取り組んだ対象地区は、元 、貢献した事務事業は、「観光協会 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力をみ の支援事業は、真壁のひなまつり。 時がスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ には、県観光物産協会参画事業は、平成 の検討、各市巡検、各市ジオツア・ 旧の検討、各市巡検、各市ジオツア・ 日本ページを効果的に活用した。 国有定名所で以上や作成し、観光協 ・ボームページを効果的に活用と、 に国有定名所で以上や作成し、観光協 ・連絡総会、室のともに会員を ・実際のひなまつりにおける交通手段 ・上野沼やすらぎの里キャンブ場の ・近隣自治体との連携・筑波ブロック 歩道利用促進協議会、空間・吾国・ 近面間のジオパーク推進協議会 ・市のホームページや観光パン	(事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 市外、県外(1都5県福島)で、「観 市外、県外(1都5県福島)で、「観 中を受け、岩瀬地区ではさくら祭りいったて祭りなどの支援を行いまし れました。 別人のお客様がケビン、オートキ・実行委員会に対しての支援として、ホームページによる広域的なPR いかトを追加作成し、既存のパンプ は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKII 26年8月に認定が見送となり、指 中等を実施した。 記念物「桜川のサクラ』、高峯の山 客が訪れる雨引観音などの観光資源 影客促進した。 読念物「桜川のサクラ』、高峯の山 客が訪れる雨引観音などの観光資源 要等に取置した。 に、な域観光連絡協議会、茨城県自然 要常県立自然公園連絡協議会、茨城県自然 要常県立自然公園連絡協議会、 第7レットによる情報発信の強化とと	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真鬼 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に ヤンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨場 上のまた平成26年7月1日に ヤンブ場、バーベキューサイ で、天城県観光物産課、茨場 上のような中で、大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 強度のひなまつり支援事業」「観 ないなまつり支援事業」「観 は、ヤマザクラ見学者の受け オープンしたホームページを で、大を利用し、余暇を楽しんだ。 な県広報公聴課、茨城県観光 に下を利用し、余暇を楽しんだ。 な県広報公聴課、茨城県観光 で、また会場案内、駐車 は、施設へ設置しました。また。 は、一ジプ観光いばらき』にお 施し207名が参加した。 に基づく事業を行った。主なが をは空港等新たな交通化 に寄与するため、既存周辺施設 いく必要があり、既存周辺施設 は、との連携・支援の検討を は保についての検討が必要であ ものの、地元への経済効果につ、 、今後は観光振興の取り組みに う策の検討が重要である。 に、 に、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー ・本郷減渡国生公園・老園県立自然企園の指定を受けている を患から自然環境、国の天然記念動・名樹油を可信用のサ ケアリー・アリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・デリー・ に対しては基本構想の構築、ジオストー ・本郷減渡国生公園・老園県立自然の場合を受けている を患いる自然の場合となる。 ・本郷減渡国生公園・老園県立自然の場合でいる。 ・ではりんり、日本に対している。 に対いる場合を認め、の地により、人と人のかれかいを 大切にした。 大切にした。 ・でくばりんりんロードやと関東の動作道のほ用、そらには対 またいるまでは、現まりに、 ・でくばりんりんロードやと関東の動作道のほ用、そらには対 またいるまで、 ・でくばりんりんロードやと関東の動作道のほ用、そらには対 変は国内辺壁は自治性との連携によりた複単で開発に取り 組んでいる。 ・地変展異策の一つとしてジオバーク認定を目指す。
特徴・ 第一	・住民の期待より、 ・住民の観光に対すいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まりいうものはなく、生まで、また。 ・ 「変しないない。」 ・ 「変しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	プどちらかといえば低い水準である テる期待度は、総合計画策定時の 計は観光に依存していない。 での、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、示 、貢献した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増塩に力を入 の工管理運営事業」は、東間13,88 の支援事業」は、真壁のひなまつり、 時バスの運行、ポスター、チラシ、 小作成事業」は、2種類のパンフレ としては、県観光物産協会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年」 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一の接り返り これまでの ・観光いフレットを作成、観光版・ホームページを効果的に活用した。 ・観光にクロットを ・観光にクロットであり、観光版・ホームページを効果のにおける交通手 ・上野沼やすらぎの里キャンプ場の ・近隣自治体との連携:気波ブロック 歩道利用促進協議会、笠間・吾国・ 按山周辺・オペーク推進協議会	(事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 市外、県外(1都5県福島)で、「観 市外、県外(1都5県福島)で、「観 中を受け、岩瀬地区ではさくら祭りいったて祭りなどの支援を行いまし れました。 別人のお客様がケビン、オートキ・実行委員会に対しての支援として、ホームページによる広域的なPR いかトを追加作成し、既存のパンプ は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKII 26年8月に認定が見送となり、指 中等を実施した。 記念物「桜川のサクラ』、高峯の山 客が訪れる雨引観音などの観光資源 影客促進した。 読念物「桜川のサクラ』、高峯の山 客が訪れる雨引観音などの観光資源 要等に取置した。 に、な域観光連絡協議会、茨城県自然 要常県立自然公園連絡協議会、茨城県自然 要常県立自然公園連絡協議会、 第7レットによる情報発信の強化とと	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真皇 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に ヤンブ場、パーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨坡 レットも含め市内の観光拠点 レットも含め市内の観光拠点 バンフレットを配布し、ホーリ ウォークフェスティバルを実) 摘事項の修正と実施計画に 今後の課題(未着手の ・北関を利用した観光容の増加 を利用した観光容の増加 を利用した観光容の増加 を利用した観光容の増加 を利用した観光容の増加 を利用した観光容の増加 を利用した観光容の増加 を利用した観光容のがあるため、 にはまだ不十分であるため ・にはまだ不十分であるため、 ・にはまだ不十分であるためまって、経済効果をもたらすナ ・で、経済効果をもたらすた ・で、日本の受入体制整備やPR方法 の受入体制整備やPR方法	重点意図として取り組んだ。 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 一般、ヤマザクラ見学者の受け、オープンしたホームページを がを利用し、余暇を楽しんだ。 な場広な公職会、でない、大を利用し、余暇を楽しんだ。 な場にないまた会場案内、駐車 は、施設へ設置しました。また。 を記述しました。またが 施し207名が参加した。 に基づく事業を行った。主なが 施し207名が参加した。 に基づく事業を行った。主なが 施し207名が参加した。 に基づく事業を行った。 を関係との連携・支援の検討を は保についての検討が必要である。 の検討が重要である。 である。	う状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
特徴・ 第一	□ 市民の期待より。 ・住民の観光に大寸き ・住民の観光にく、生き ・住民の観光にく、生き ・27年度に細の結まで、 ・27年度に細の結まで、 ・1、観り、 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	プとちらかといえば低い水準である 一	□ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 を運営支援事業」「上野沼やすら 別を受け、岩瀬地区ではさくら祭りいったで祭りなどの支援を行いまし 入れました。 別人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として まで、大力による広域的なPR かったで終りなどの支援を行いました。 別人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として 水一ムページによる広域的なPR かトを追加作成し、既存のパンフリ 業は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI 2026年8月に認定が見送となり、指 一等を実施した。 別の組成果 い協会運営の促進。 設等に設置した。 記念物『桜川のサクラ』、高峯の山 各が弱れる間引観音などの観光資源 段を確保した。 設定を確果した。 製売なり、第3年に のは、東京といて、 でな観光連絡協議会、 茨城県自然 愛岩県立自然公園連絡協議会、 第 プレットによる情報発信の強化とと ペーンを積極的に活用し、観光	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをは ぎの里管理運営事業 「真卑 」、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に ヤンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨坡リンツトも含め市内の観光拠点 パンフレットを配布し、ホーノウオークフェスティバルを実施計画に カラー・北関東道やつくばエクスアルフラを利用した観光中を検討した。 第二次を要は 地域 光中の であり は エクスアルフラを利用した観光中を検討して、 第二次を変し、 一次のであるためまって、経済源へのがあるためまって、経済効果をもたらす ナマザクラ、雨引 観音 こって ・桜川のサクラ (磯路音) つく は 100 サクラ (磯路音) つく は 100 サクラ (磯路音) つく マップクラ、雨引 観音 こっく マップクラ、雨引 観音 こって かった な 100 サクラ であるためまって、経済効果をもたらす カート マップクラ、雨引 観音 こって かった 100 サクラ である アート マップクラ、雨引 観音 こって かった 100 サクラ 下あり は 100 サクラ 下あり は 100 サクラ 下あり また 100 サクラ 下あり また 100 サクラ 下ありまた 100 サクラ アラ	重点意図として取り組んだ。 重点意図として取り組んだ。 産のひなまつり支援事業」「観 場際、ヤマザクラ見学者の受ける。 は関係、ヤマザクラ見学者の受ける。 は関係、ヤマザクラ見学者の受ける。 は関係を楽しんだ。 な関広解公聴課、茨城県観光 実施した。また会場案内、駐車 高、施設へ設置しました。また。 は関係と変更を行った。主なが 本ページ「観光いばらき』にお 施し207名が参加した。 こ基づく事業を行った。主なが 事業、未達成の理由など な果広の理由など な果広の理方なら、既存周辺施設 におっての検討が必要である。 は保についての検討が必要である。 ものの、地元への経済効果につ、 ・今後は観光に関呼の取り組みに 方徴の検討が重要である。 (と間、 機部箱村神社、 高楽の とは間、 等の市内桜スポットへ	方状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー ・本電流変国を公園・空間な自然へ関からする発文に対した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー ・本電流変国を公園・空間な自然へ動や前となるに採りのサイックラ、専出のナマックラ、対の時を登泉で限しまった。 国際の単分、多の観光客が訪れる雨引山等の歴史的、 定代の過度を活か、観光等からない。 電柱の観光度の整位はたり、人とかられおいを、 大切にした確認の概との動化により、人とかられおいる。 大切にした確認の概とが関末自動すると対し、イベントの見直 しや情報、観光宣伝の動化により、大とかられおいる。 ・つくはブルタルロードや・間質も動きが反び居用、さらには数 は山豚に砂塞自由体との連集により、最終との関係に取り 組織医関策の一つとしてジオバーク認定を目指す。 市と観光路会のホームページやフェイスブック、観 ※パンフレットによる情報を信をさらに進め、観光 ※パンフレットによる情報を信をさらに進め、観光 ※ポンフレットによる情報を信をさらに進め、観光 ※ポンプレットによる情報を信をさらに進め、観光 ※ポンプレットによる情報を信をさらに進め、観光 ※ポンプレットによる情報を信をさらに進め、観光 ※ボンフレットによる情報を信をさらに進め、観光 ※ポンプレットによる情報を信をさらに進め、観光 ※ポンプレットによる情報を信をさらに進め、観光
特徴・ 7. 施策の 前年度組と課題 8. 総合計	□ 市民の期待より。 ・住民の観光に大寸き ・住民の観光にく、生き ・住民の観光にく、生き ・27年度に細の結まで、 ・27年度に細の結まで、 ・1、観り、 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	アとちらかといえば低い水準である 「一方期待度は、総合計画策定時の 「一方期待度は、総合計画策定時の 「一方期待度は、総合計画策定時の 「一方期に取り組みに対象地区は、 「一方期に取り組みに対象地区は、 「一方期に大事務事業は、「観光協会 「一般を回るともに会員増強に力を入り 「日本のいるまつり、真壁・耐力を回る。 「日本のいるまつり、真壁・耐力を回る。 「日本のいるまつり、真壁・耐力を回る。 「日本のいるまつり、真壁・では、年間13,880。 「日本のいるまつり、真壁・では、年間13,880。 「中では、真壁・でいる。まつり、時に、スの運行、ボスター、チラシ、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 市民の期待よりかな 満足度・優先度意向調査でみると (事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 を選営支援事業」「上野沼やすら、 日を受け、岩瀬地区ではさくら祭りいったで祭りなどの支援を行いまし、 れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として、 ホームページによる広域的なPR ツトを追加作成し、既存のパンフリー 業は、観光キャンペーンにおいて、 を推進した。 10月25日(日)に第33回IBARAKI 変名作業別に認定が見送となり、指 一等を実施した。 のかれるでであれる時引観音などの観光資源 数等に設置した。。 記念物『桜川のサクラ』、高墨の山 をが訪れる時引観音などの観光資源 数等に設置した。 のな観光空解した。 のな観光空解した。 プレットによる情報発信の強化とと ペーンを積極的に活用し、観光 用し物産等のPR強化に取り組ん	なり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真豊 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に センブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨場 ルカークンなの	正 市民の期待と 正 市民の期待と 注意項目に位置しているとい 重点意図として取り組んだ。 意のひなまつり支援事業」「観 原、ヤマザクラ見学者の受け オープンしたホームページを 小を利用し、余暇を楽しんだ。 な別広報公聴課、茨城県観光 実施した。また会場案内、駐車 高、施設へ設置しました。また。 なべージ「観光いばらき』にお 施し207名が参加した。 こ基づく事業を行った。主なが 事業、未達成の理由など ス、茨城空港等新たな交通へた。 に寄与するため、既存周辺施設 いく必要がある。 に関体との連携・支援の検討を要である。 は関係についての検討が必要であ ものの、地元への経済効果につ、 、今後は観光振興の取り組みに 「策の検討が重要である。 公園、磯部稲村神社、高峯の くし湖)等の市内桜スポットへ 、、桜まつりの運営方策につい に常ちず策につい 「大阪の横部が重要である。	方状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー ・本素歳渡国定公園・空間県立自然公園・行を受けている る患かな自然環境、国の天然記念物・名制指定の「採川のサ プラト党組のナマサラ、美いの時が登録文配を行て 気壁の事なみ、多くの観光等が訪れる用引出等の歴史的、 大切にした滞在影の観光的から成と図るとは、イベントの見は が現代を観め、監督に対し、長と人とのよれめは 大切にした滞在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした滞在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした滞在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした滞在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした滞在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした滞在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした滞在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした潜在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした滞在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした滞在影の観光地の形成を図る。 ・大切にした潜在影の観光をの一般には 波山周辺地域自治体との連携により止な観光の開発に取り 組んでいく。 ・地変展興策の一つとしてジオペーク設定を目指す。 市と観光協会のホームページやフェイスブック、観 光・シアレットによる情報発信をさらに進め、観光・ 物産両面を強化していくととして、マスメディアや観 光キャンペーンを積極的に活用し、観光PRの充実 に努める。
特徴・ 第一	□ 市民の期待より。 ・住民の観光に大寸き ・住民の観光にく、生き ・住民の観光にく、生き ・27年度に細の結まで、 ・27年度に細の結まで、 ・1、観り、 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	プどちらかといえば低い水準である テる期待度は、総合計画策定時の 計は観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、示 護施した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力をみ の支援事業」は、真壁のひなまつり。 時バスの運行、ポスター、チラシ、、 小作成事業」は、2種類のパンフレ には、県観光物産協会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 ・観光、フレットを作成し、観光施・ホームページを特定に活用した。 ・超光にフレットを作成し、観光施・ホームページを書り、 ・上野沼やすらぎの里キャンブ場の ・近隣自治体との連携・筑波ブロック 歩道利用位地協議会、 では、異観光なこの上おける交通手目・ ・上野沼やすらぎの里キャンブ場の ・近隣自治体との連携・筑波ブロック 歩道利用位地協議会。 ・市のホームページを観光キャン・ PRを充実させた。 ・観光管源の整備と相互の連携。 で、マスメディアや観光キャン・ PRを充実とさせた。 ・観光管源の整備と相互の連携を 源の充実と努めた。	(事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 市外、県外(1都5県福島)で、「観 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら 明を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし 入れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として っ支援として 、大小ました。 10月25日にのに第33回IBARAKI 26年8月に認定が見送となり、指 10月25日に別に第33回IBARAKI 26年8月に認定が見送となり、指 10年25年の機工とといる。 記念物『桜川のサクラ』、高峯の山 をが訪れる雨引観音などの観光資源 段を確保した。 誘客促進した。 「成域観光連絡協議会、茨城県自然 安岩県立自然公園連絡協議会、茨 プレットによる情報発信の強化とと ペーンを積極的に活用し、観光 日、物産等のPR強化に取り組ん を図り、新たなイベントや観光資	なり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業」「真豊 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に センブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物産課、茨場 ルカークンなの	重点意図として取り組んだ。 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 場際、ヤマザクラ見学者の受け、 は果にないなまっり支援事業」「観 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ないないない。 はいた。また会場案内、駐車、 においてのない。 においての検討が必要である。 は関いての検討が必要である。 は関いての検討が必要である。 は関係についての検討が必要である。 は関係のの、地元の経済効果につく でののは経済効果についてが検討が重要である。 に対しての検討が重要である。 に対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係のでは対していての検討が必要である。 は関係ののは対していてが必要である。 は関係の検討が重要である。 に対していての検討が必要である。 は関係ののが対していてが必要である。 は関係の検討が重要である。 は対していてが対していてが必要である。 は関係の検討が重要である。 は関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係のでは関係の検討を関係のを関係のを関係の検討を関係のを関係のを関係の検討を関係の検討を関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係の	方状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 2物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー 2000年の事業を受けている。 る思かな自然環境、国の天然記念物 名制指述の「経川のサ プラド東山のナマサラ、別の中が登録な位を行て、 気壁のな自然環境、国の天然記念物 名制指述の「経川のサ プラド東山のナマサラ、別の市・経済気をしたらすよう 新作の観光観点の整理が表現ると思えが がいません。 大切にした滞在型の観光地の形成を図る。 大切にした滞在型の観光地の形成を図る。 大切にした滞在型の観光地の形成を図る。 大切にした滞在型の観光地の形成を図る。 大切にした滞在型の観光地の形成を図る。 、一、地域展別策自治体との連邦により、止入とかられかはを 大切にした滞在型の観光地の形成を図る。 、一、地域展別策自治体との連邦により、止入とかられかはを 大切にした滞在型の観光地の形成を図る。 、一、地域展別東の一つとしてジオバーク設定を目指す。 市と観光協会のホームページやフェイスブック、観光など、 ・地域展別策の一つとしてジオバーク設定を目指す。 市と観光協会のホームページやフェイスブック、観光など、 ・地域展別策の一つとしてジオバーク設定を目指す。 市と観光協会のホームページやフェイスブック、観光を対していていたとして、マスギッイアや観光ない、一、 光キャンペーンを積極的に活用し、観光PRの充実 に努める。 既存の観光資源の受入体制の整備と相互の連携を きらに進め、新たなイベントの発掘や観光資源の方 をにいる。新たなイベントの発掘や観光資源の方
特徴・策の おかん できます おり できます かん	□ 市民の期待より。 ・住民の観光に大寸き ・住民の観光にく、生き ・住民の観光にく、生き ・27年度に細の結まで、 ・27年度に細の結まで、 ・1、観り、 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	アとちらかといえば低い水準である 「一方期待度は、総合計画策定時の 「一方期待度は、総合計画策定時の 「一方期待度は、総合計画策定時の 「一方期に取り組みに対象地区は、 「一方期に取り組みに対象地区は、 「一方期に下事務事業は、「観光協会 「一般を図るともに会員増強に力を入り 工を図るともに会員増強に力を入り 工を図るともに会員増強に力を入り 工を図るともに会員増強に力を入り 工を図るともに会員増強に力を入り 工を図るともに会員では、年間13,88 「一方期では、集観光物産協会参画事業」は、年間13,88 「一方事務事業」は、真壁のひなまつり、 「中では、県観光物産協会参画事業」は、平成 「一方には、県観光物産協会参画事業は、平成 「一方には、県観光物産協会参画事業は、平成 「一位は、県観光物産協会参画事業は、平成 「一位は、県観光物産協会参画事業は、平成 「一位は、県観光物産協会参画事業は、平成 「一位は、県観光物産協会参画事業は、中成 「一方批進協議会参画事業は、平成 「一方批進協議会参画事業は、平成 「一方批進協議会参画事業は、平成 「一方地進協議会参画事業は、平成 「一方地進協議会参画事業は、平成 「一方地進協議会参画事業は、平成 「一方地進協議会参画事業は、平成 「一方のボンフレットを作成し、観光館に、下の大 「一方の下が多りに対ける交通手は、 「一方の下が多りに対けるなどのでは、 「一方の下がありまするなどのでは、 「一方のでは、 「一方のでは、 「一方のでは、 「一方のでは、 「一方のでは、 「一方のでは、 「一方のでは、 「一方のでは、 「一方のでは、 「一方のでは、 「一方の	(事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観 市外、県外(1都5県福島)で、「観 市外、県外(1都5県福島)で、「観 会運営支援事業」「上野沼やすら 明を受け、岩瀬地区ではさくら祭り いったて祭りなどの支援を行いまし 入れました。 80人のお客様がケビン、オートキ・ 実行委員会に対しての支援として っ支援として 、大小ました。 10月25日にのに第33回IBARAKI 26年8月に認定が見送となり、指 10月25日に別に第33回IBARAKI 26年8月に認定が見送となり、指 10年25年の機工とといる。 記念物『桜川のサクラ』、高峯の山 をが訪れる雨引観音などの観光資源 段を確保した。 誘客促進した。 「成域観光連絡協議会、茨城県自然 安岩県立自然公園連絡協議会、茨 プレットによる情報発信の強化とと ペーンを積極的に活用し、観光 日、物産等のPR強化に取り組ん を図り、新たなイベントや観光資	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業 「真豊 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に ヤンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物座露出 を リ、かき含め市内の観光拠点 パンプレットを配布し、ホーリ ウオークフェスティバルを実施計画に ・新たな観光を変計画に ・新たな観光を変計画に ・新たな観光を変がある。 ・観光度変がある。 ・観光度変がある。 ・観光度変がある。 ・観光度を数は増加傾向にある ・観光度変がある。 ・観光度を数は増加傾向にある ・観光度を数は増加傾向にある ・で、経済効果をもたらす ・を ・を ・にはまだな外界をもたらす ・を ・にはまだな外界を ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で	重点意図として取り組んだ。 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 場際、ヤマザクラ見学者の受け、 は果にないなまっり支援事業」「観 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ないないない。 はいた。また会場案内、駐車、 においてのない。 においての検討が必要である。 は関いての検討が必要である。 は関いての検討が必要である。 は関係についての検討が必要である。 は関係のの、地元の経済効果につく でののは経済効果についてが検討が重要である。 に対しての検討が重要である。 に対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係のでは対していての検討が必要である。 は関係ののは対していてが必要である。 は関係の検討が重要である。 に対していての検討が必要である。 は関係ののが対していてが必要である。 は関係の検討が重要である。 は対していてが対していてが必要である。 は関係の検討が重要である。 は関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係のでは関係の検討を関係のを関係のを関係の検討を関係のを関係のを関係の検討を関係の検討を関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係の	方状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
特徴・策の 前年度組と 8. 総合計	□ 市民の期待より・住民の期待より・住民の観光に大生計・によりものはなな、生まで見た。 ・27年度に対して重異を担いられてでは、10年の間のは、10年の間のは、10年の間のでは、10年の期待より、10年の間のでは、10年の同じは、	プどちらかといえば低い水準である テる期待度は、総合計画策定時の 計は観光に依存していない。 この、これまでの主な取り組み 重点的に取り組んだ対象地区は、示 護施した事務事業は、「観光協会 業といえる。 援事業」は、市補助金6,000,000円 真壁のひなまつり、真壁祇園祭、か 化を図るとともに会員増強に力をみ の支援事業」は、真壁のひなまつり。 時バスの運行、ポスター、チラシ、、 小作成事業」は、2種類のパンフレ には、県観光物産協会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 一ク推進協議会参画事業は、平成27年 ・観光、フレットを作成し、観光施・ホームページを特定に活用した。 ・超光にフレットを作成し、観光施・ホームページを書り、 ・上野沼やすらぎの里キャンブ場の ・近隣自治体との連携・筑波ブロック 歩道利用位地協議会、 では、異観光なこの上おける交通手目・ ・上野沼やすらぎの里キャンブ場の ・近隣自治体との連携・筑波ブロック 歩道利用位地協議会。 ・市のホームページを観光キャン・ PRを充実させた。 ・観光管源の整備と相互の連携。 で、マスメディアや観光キャン・ PRを充実とさせた。 ・観光管源の整備と相互の連携を 源の充実と努めた。	(事務事業)の総括 市外、県外(1都5県福島)で、「観会連営支援事業」「上野沼やすら、	はり低い水準であると、平均よりどちらも低く、要う 光情報を発信する」ことをに ぎの里管理運営事業 「真豊 り、納涼大会、岩瀬駅前祇園 た。また平成26年7月1日に ヤンブ場、バーベキューサイ て、茨城県観光物座露出 を リ、かき含め市内の観光拠点 パンプレットを配布し、ホーリ ウオークフェスティバルを実施計画に ・新たな観光を変計画に ・新たな観光を変計画に ・新たな観光を変がある。 ・観光度変がある。 ・観光度変がある。 ・観光度変がある。 ・観光度を数は増加傾向にある ・観光度変がある。 ・観光度を数は増加傾向にある ・観光度を数は増加傾向にある ・で、経済効果をもたらす ・を ・を ・にはまだな外界をもたらす ・を ・にはまだな外界を ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で	重点意図として取り組んだ。 重点意図として取り組んだ。 達のひなまつり支援事業」「観 場際、ヤマザクラ見学者の受け、 は果にないなまっり支援事業」「観 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ヤマザクラ見学者の受け、 は外、ないないない。 はいた。また会場案内、駐車、 においてのない。 においての検討が必要である。 は関いての検討が必要である。 は関いての検討が必要である。 は関係についての検討が必要である。 は関係のの、地元の経済効果につく でののは経済効果についてが検討が重要である。 に対しての検討が重要である。 に対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係ののが対していての検討が必要である。 は関係のでは対していての検討が必要である。 は関係ののは対していてが必要である。 は関係の検討が重要である。 に対していての検討が必要である。 は関係ののが対していてが必要である。 は関係の検討が重要である。 は対していてが対していてが必要である。 は関係の検討が重要である。 は関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係の検討を関係のでは関係の検討を関係のを関係のを関係の検討を関係のを関係のを関係の検討を関係の検討を関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係のを関係の	方状態である。現在、市内には観光産業と 光パンレフレット作成事業」が施策の成果 入れ、大和地区では大和流鏑馬競技大 活用し、観光PRや情報発信を進め、観 地産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 よ物産協会、首都圏新都市鉄道(TX)、関 よ場整理等で商工観光課のほか市職員有 近隣自治体と連携し、キャンペーン等でも いて市内観光スポットの情報を発信した。 内容としては基本構想の構築、ジオストー の表から自然環境、国の実施記念物へ場前性の行場加らサラウトを担助のナマザラ、約00億年の最大のが扱わる所引出等の歴史的などれら過程のが開発を発信した。 京畿の電光系、多の観光をが訪れる所引出等の歴史的、大切にした海を活め、最新活・一条活み果とれたらよう 京成物をと限えの整備となる場合により、人とかられおいを 大切にした海をの観光をの強化により、人とかられおいを 大切にした海をの観光をの地により、は、一つくにプルカルロードや上間東自動車道の活用、そらには減 変山両辺速度自治体との連携にからな観光の海に取り 組んでいて、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

③近隣自治体との連携

化を展開した。

・近隣自治体が加入している協議会等を活用し、イベント会場や 観光案内所での合同PR活動を推進し、観光資源のネットワーク

・筑波山地域ジオパーク推進協議会で計画している事業(講演会、パネル展、パンフレット配付、ホームページによるジオサイト紹介等)を推進していく。

近隣自治体が加入している協議会を活用し、イベント会場や観光案内所での合同PR活動を推進し、市のイメージアップへと繋げる。また観光資源のネットワーク化を進め、通過型から滞在型に移行できるよう努めていく。